



2024年2月14日

各 位

会社名 東洋炭素株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 近藤 尚孝
(コード番号: 5310 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画本部副本部長 高多 学
(TEL. 050-3097-4950)

配当方針の変更および剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、配当方針の変更および2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、剰余金の配当につきましては、2024年3月28日に開催予定の第82期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当方針の変更

(1) 変更の理由

当社は、高機能カーボンに特化した炭素製品メーカーとして付加価値を追求し、企業価値の向上と中長期的な事業成長を目指しております。事業において生み出した利益につきましては、さらなる事業成長に向けた設備投資への配分に加え、株主の皆様への還元が重要な経営課題であると認識しており、安定的な配当を実施してまいりました。

このたび、株主の皆様への利益還元をより安定的に充実させていくことが重要との考えのもと、配当の基準を設定することといたしました。

(2) 変更の内容

(変更前)

当社は、長期的な競争力の強化と企業価値の向上を目的として、戦略的に投資を行うとともに、各事業年度の経営成績、将来の事業展開や経営基盤の強化に向けた資金需要等を総合的に勘案し、安定した利益還元を継続して行うことを基本方針としております。内部留保金につきましては、生産関連設備投資、新製品開発および研究開発投資等に充当する所存であります。

(変更後)

当社は、長期的な競争力の強化と企業価値の向上を目的として、戦略的に投資を行うとともに、各事業年度の経営成績、将来の事業展開や経営基盤の強化に向けた資金需要等を総合的に勘案し、配当性向30%以上の安定した利益還元を継続して行うことを基本方針としております。内部留保金につきましては、生産関連設備投資、新製品開発および研究開発投資等に充当する所存であります。

2. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年8月9日公表)	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	110円00銭	90円00銭	70円00銭
配当金総額	2,306百万円	—	1,468百万円
効力発生日	2024年3月29日	—	2023年3月31日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当の変更理由

上記配当方針に基づき、2023年12月期連結業績における利益水準や財務状況、次期以降の見通し等を総合的に勘案し、2023年12月期の期末配当を2023年8月9日公表の予想から20円増配し、110円に修正することといたしました。

なお、2024年12月期の期末配当につきましては、1株当たり10円増配の120円とさせていただきます。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2023年12月期)	—	110円00銭	110円00銭
前期実績 (2022年12月期)	—	70円00銭	70円00銭

以上